

地方創生推進交付金 事業別効果検証シート

NO 1-1

交付対象事業の名称	人を呼び込むマグネットシティ構想 (二地域就労促進事業)	担当部署	総合政策部 政策企画課					
		事業期間	R2年度～R4年度					
総合戦略での位置づけ	<p>基本目標2 天草への新しい人の流れをつくる</p> <p>(1)本市への移住促進 (ア)天草の自然環境を活かした交流と移住・定住の推進 (2)若者の地元定着に向けた支援等 (ア)若者世代のUターンの強化及びJターンや地元定借の推進 (イ)未来を支える人材育成 (3)「関係人口」の創出・拡大 (ア)「関係人口」創出・拡大のための環境整備</p> <p>基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる</p> <p>(2)全世代・全員活躍に向けた環境づくり (イ)居場所と役割のあるコミュニティづくりの推進</p> <p>魅力ある雇用の場・学びの場をつくり、本市の若者世代の転出超過を減速させるとともに、都市部から新たな人材を引き寄せる移住・定住の促進を行う。</p>							
令和3年度実績								
事業の目的	事業の内容	総事業費 (うち交付金充当額)	事業費内訳					
都市部の企業等との関係性を保ちながら、本市への社員の就労等によりもたらされる都市部の情報や高度なノウハウや知識、感性などにより、新たな仕事や生業を創出し、中小企業の振興及び雇用創出を図る。	二地域就労協定に係るプロジェクトの創出・継続・自立支援 ●京都芸術大学との旅するキャンパス創造事業による学びの場の創出。 ●(株)ANA総合研究所との地域活性化に係る連携	17,594千円 (8,797千円)	・京都芸術大学との業務委託契約 委託料 5,027千円					
		※マグネットシティ構想全体の総事業費 企業版ふるさと納税 (充当額) <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	・(株)ANA総合研究所との業務委託契約 委託料 4,400千円					
本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値								
指標		単位	事業開始前	R2	R3	R4		
指標①	移住・定住促進施策を通じた移住者数	人		80	90	100		
			70	87	72	-		
指標②	大学等との連携事業の参加者数	人		80	120	160		
			0	355	216	-		
事業の実績(実施内容等)								
<p>二地域就労協定に係るプロジェクトの創出・継続・自立支援</p> <p>○京都芸術大学との旅するキャンパス創造事業により、学びの場を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般:6講座60名参加 ・学生:4講座156名参加(小学生78名・中学生78名) ・大学生による地域課題解決に向けたリサーチ・提案の実施 3月:学生4名、教員2名によるリサーチ・天草のさりの島デニムの提案 <p>○(株)ANA総合研究所との地域活性化に係る連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草宝島戦略マネージャーによる地域活性化に向けた取り組み 内容:天草路線バスの旅、職業講話、情報発信、提案等 								

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

○京都芸術大学との取り組みでは、大学教授を講師とした講座をオンラインではあるが天草に居ながら受講できる場を設けたことで、学びの場の創出に繋がっている。また、市外の大学生によるリサーチでは、課題解決に向けたECサイトを試作し提案され、現在も引き続き改良を加えるなど、新たな視点での仕組みづくりを行っている。

○(株)ANA総合研究所との取り組みでは、路線バスを使った旅(4ルート)を外部の女性の視点から提案。新たな観光施策の一つとしてPRしていくこととしている。また、職業講話では、普段見聞きしないCAの職業を直接伝えることで、貴重な体験の場となっている。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

○京都芸術大学との取り組みについては、大学等との連携調整事業の中で、継続して取り組んでいく。

○(株)ANA総合研究所との地域活性化に係る連携については、これまで大きな成果をあげてきたが、コロナ禍の中、計画的な事業の進捗が困難となったため、中止することとした。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない

地方創生推進交付金 事業別効果検証シート

NO 1-2

交付対象事業の名称	人を呼び込むマグネットシティ構想 (未来人材育成・就職促進事業)	担当部署	経済部 産業政策課
		事業期間	R2年度～R4年度
総合戦略での位置づけ	<p>基本目標2 天草への新しい人の流れをつくる</p> <p>(1)本市への移住促進 (ア)天草の自然環境を活かした交流と移住・定住の推進 (2)若者の地元定着に向けた支援等 (ア)若者世代のUターンの強化及びJターンや地元定借の推進 (イ)未来を支える人材育成 (3)「関係人口」の創出・拡大 (ア)「関係人口」創出・拡大のための環境整備</p> <p>基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる</p> <p>(2)全世代・全員活躍に向けた環境づくり (イ)居場所と役割のあるコミュニティづくりの推進</p> <p>魅力ある雇用の場・学びの場をつくり、本市の若者世代の転出超過を減速させるとともに、都市部から新たな人材を引き寄せる移住・定住の促進を行う。</p>		

令和3年度実績

事業の目的	事業の内容	総事業費 (うち交付金充当額)	事業費内訳
若者のUIJターンに向けた情報発信や就職面談会による就職支援、また、スキルアップできる環境を整備し、起業・創業につながる人材を育成することにより、産業振興及び地域活性化を図る。	<p>【就職情報の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天草市内で働く魅力のパンフレットの作成(年1回・地元高校生の編集チームによる作成) UIJターン就職促進動画の作成、配信 <p>【UIJターン就職面談会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> あまくさ合同就職面談会in熊本市での開催 企業魅力研究会in崇城大、学園大 <p>【スキルアップ研修会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> Webデザイン、クラウドワーキング、グラフィックデザイン、動画クリエイター、オンラインシェアワーカー育成講座の開催 <p>【デザイン経営導入促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン経営導入シンポジウムを開催 デザインプロデューサー道場を開催 	<p>17,594千円 (8,797千円)</p> <p>※マグネットシティ構想全体の総事業費</p> <p>企業版ふるさと納税(充当額)</p> <p><input type="checkbox"/> 該当</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</p>	<p>■未来人材育成・就職促進事業 8,167千円</p> <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信費……………1,031千円 就職面談会運営……………2,622千円 スキルアップ研修……………2,929千円 デザイン経営導入……………1,545千円

本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値

指標		単位	事業開始前	R2	R3	R4		
指標①	移住・定住促進施策を通じた移住者数	人		80	90	100		
			70	87	72	-		
指標②	大学等との連携事業の参加者数	人		80	120	160		
			0	355	216	-		

事業の実績(実施内容等)

【就職情報の発信】

①地元高校生と「あまくさ高校生編集社」を結成し地元企業を取材、若者目線での魅力発信パンフレットを3,000部制作し、県内大学はじめ関係機関へ配布。

②熊本デザイン専門学校と連携し、UIJターン就職促進動画を作成し、発信。

【UIJターン就職面談会の開催】

①あまくさ合同就職面談会in熊本市を開催:参加企業19社、参加者50名

②天草の企業魅力研究会を崇城大と学園大で開催:参加企業延べ11社、参加者9名

【スキルアップ研修会の開催】

①WEBデザイン、グラフィックデザイン、クラウドワーキング、動画クリエイター、オンラインシェアワーカー育成講座を開催:延べ受講者 111名

【デザイン経営導入促進事業】

デザイン経営導入シンポジウムを2回(本渡・牛深)を開催:参加者延べ92名

デザインプロデューサー道場を6日間のカリキュラムで開催:参加者15名 プロジェクト稼働6チーム

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

・就職情報発信事業は、地元高校生が自ら取材し、等身大の視点で企業の魅力を伝えることができ大変好評であった。
また、県内の専門学校と連携し、動画を作成し、企業誘致のプロモーションに活用することができた。
・あまくさ合同就職面談会in熊本市は2月に移住相談会と併せて、本市からの転出先の1位であり、天草出身者が多い熊本市において開催した。新型コロナウイルス感染症防止のため、出展企業は天草会場、来場者を熊本会場としてオンラインで繋いで実施した。参加企業は19社、参加者は来場分で34名、オンラインで16名の計50名の参加があり、天草の企業を知り、就職先の選択肢として意識していただくなど、一定の効果はあったと思われる。そのため、今後も引き続き取り組んでいきたい。
また、2つの大学と「あまくさ魅力研究会」と題し、各大学で天草の企業による説明を実施した。参加者が目標10名に対し計9名であったが、集客については工夫を凝らした企画など、より一層の参加しやすき環境整備が必要と感じた。
・デジタル技術を活用し、天草にいなながら稼げる人材の育成として、デジタルスキル研修を、6つの講座で開催。目標定員115名に対し、111名の参加があり、仕事に繋がった方も出るなど一定の効果があったことから、今後も引き続き取り組んでいきたい。
・デザインプロデューサー道場では自社の商品・サービスが大切にする価値と顧客が求めている価値とを繋ぐ商品開発、ブランディング、戦略といった経営に必要なデザイン思考を学んでいただき、6件のマッチング(企業×デザイナー)案件が組成できた。また、セミナーでは多くの事業者やフリーランスにデザイン経営について理解いただくことができた。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

今後も、UIターン就職支援については、熊本市での合同企業説明会の継続実施、県内大学・専門学校と提携した学内での天草就職促進イベントの実施、地元高校生を対象とした企業ガイダンス等を実施し、地元就職を促進する。
デジタルスキル研修については、実施した講座の見直し、改良を行い、仕事に繋がるデジタル人材の育成に力を入れる。また、早い段階からデジタル産業に興味を持ち、天草に残って働きたいという若者を育成するため、学生のデジタル体験キャンプ等も行う。さらに、民間企業と連携し、常にデジタル技術を学ぶことができる人材育成拠点を整備し、人材育成を強化することで、IT・コンテンツ系の企業誘致に繋げ、魅力ある雇用の場の創出を図る。
デザイン経営事業については、若い人に投資することで、将来的に他の層にも恩恵がある事業であり、過疎の進む本市において、学びの機会を多く設けることこそ必要であり、昨年度の課題を改善するなどアップデートを図りながら継続実施する。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない

地方創生推進交付金 事業別効果検証シート

NO 2

交付対象事業の名称	多文化共生「天草版サラダ・ポウル社会」の構築事業	担当部署	総合政策部 政策企画課				
		事業期間	R2年度～R4年度				
総合戦略での位置づけ	<p>基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる (3)地域共生社会の実現 (イ)多文化共生の地域づくり</p> <p>増加している外国人居住者について、「外国人材の定着」や「受入支援」及び「共生支援」を進めるため、「外国人総合相談窓口」や「日本語教室などを通じた交流促進」などを継続的に実施し、外国人居住者が安心して生活できる多様な文化を共有できる社会の実現を図る。 さらに、若い世代の国際交流を促進し、国際社会に貢献する人材の育成を図る。</p>						
令和3年度実績							
事業の目的	事業の内容	総事業費 (うち交付金充当額)	事業費内訳				
市民ボランティア等を通じて市民と外国人との交流機会を拡大し、外国人のニーズを図るとともに、多文化共生の意識啓発を図りながら、天草に住みやすい環境の整備を行う。	○国際交流推進員の配置 ○多文化共生事業の実施 ・日本語教室等の実施 ・外国人総合相談窓口の実施	総事業費 4,462千円 交付対象事業費 4,432千円 (交付金充当額 2,216千円) 企業版ふるさと納税 (充当額) <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	○国際交流推進員の配置 2,272千円 [内訳] ・人件費 ○多文化共生事業 2,190千円 [内訳] ・業務委託(日本語教室・外国人総合相談窓口実施)				
本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値							
指標	単位	事業開始前	R2	R3	R4		
指標① 外国人居住者の満足している割合	%		65.2	65.6	66.0		
			64.8	58.7	73.0	-	
指標② 子育てしやすい地域と感じる市民の割合	%		63.6	66.3	69.0		
			60.9	64.1	67.5	-	
事業の実績(実施内容等)							
●多文化共生事業の実施 ①日本語教室等の実施 ・日本語教室 年間21回実施 ・ボランティア養成講座(1回) ・「日本語教室紹介(ボランティア向け)」動画制作(約5分の動画) ②外国人総合相談窓口の実施(毎週月・木曜日。祝日及び年末年始は除く。) 年間計95日開設(延べ608件の相談) ●国際交流推進員の配置 ①官学協定を結んでいる忠清大(韓国)との連携による卒業生の登用(R2.11～) ②多文化共生社会の実現に向けた多文化共生支援と国際交流支援の実施。 ・市民向け韓国語講座(3回)、国際理解講話(10回) ・情報発信(天草Webの駅、Instagramなど)							

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

日本語教室の開催や外国人相談窓口の開設により、外国人居住者が生活しやすい環境整備に取り組んでいる。アンケートによる外国人居住満足度も上昇しており、この取り組みは現在本市に暮らす外国人居住者が安心して暮らせる環境づくりに一定の効果があったと考える。

また、国際交流推進員による韓国語講座・国際理解講座などの実施により、外国文化(主に韓国)への市民の理解が進んでいると考える。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

・現在行っている「日本語教室」や「外国人総合相談窓口」については、徐々に認知度も上昇しており、外国人居住者の満足度に繋がっているため継続して行う。

・国際交流推進員による講座は市民にも好評であるため、今後も外国人からの視点をふまえて啓発活動を実施し、多文化共生に関する意識啓発や市民が外国人と交流しやすい環境づくりを推進する。現在本渡地域での講座が多いため、広い範囲で講座を実施できるように、各支所へ国際交流推進員の活動を周知する。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない

地方創生拠点整備交付金 事業別効果検証シート

NO 3

交付対象事業の名称	天草市スポーツコミッションセンター(仮称)整備事業	担当部署	地域振興部 スポーツ振興課					
		事業期間	R3年度～R7年度					
総合戦略での位置づけ	基本目標1 天草を支える産業の発展と安定した雇用を創出する (4)観光産業の成長産業化 (エ)観光産業を支える「仕組みづくり」と「担い手づくり」 基本目標2 天草への新しい人の流れをつくる (3)「関係人口」の創出・拡大 (ア)「関係人口」創出・拡大のための環境整備 基本目標4 市民が誇りを持ち安心して暮らせる地域をつくる (1)健康寿命日本一のまちづくり (イ)スポーツ・健康づくり 多様化するスポーツニーズに応じた施設環境を整備しスポーツコミッションを設立することで、市民の健康づくりや体力増進、また、大会誘致等による交流人口の増加を図る。							
令和3年度実績								
事業の目的	事業の内容	総事業費 (うち交付金充当額)	事業費内訳					
天草市スポーツ拠点施設整備基本計画に基づき、市民一人ひとりが日常的にスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた新たな交流を創出する。	【天草市スポーツコミッションセンター(仮称)新築】 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延床面積 2,448.81㎡ 施設概要 ・会議室兼審判室、トレーニング室、ラウンジ、多目的室、男女更衣室、事務室、2階観覧席(一般539席、車いす用14席)、エレベーター設置、倉庫、トイレ等	総事業費 770,253千円	【施設整備等経費】					
		交付対象事業費 39,210千円	・建築工事 37,109千円 ・工事監理費 1,478千円					
		(交付金充当額 19,605千円)	【効果促進事業】 ・エントランス舗装工事(造成) 623千円					
		企業版ふるさと納税 (充当額)						
		<input type="checkbox"/> 該当						
		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値								
	指標	単位	事業開始前	R3	R4	R5	R6	R7
指標①	スポーツコミッションセンターの利用者数(陸上競技場含む)	人		0	0	51,000	52,500	54,000
			0	0	-	-	-	
指標②	大会・合宿誘致件数	件		0	0	24	28	33
			0	0	-	-	-	
事業の実績(実施内容等)								
本事業も含めた予算を6月議会に提出し可決後、9月の造成工事を皮切りに、スポーツコミッションセンターの本体建物及び電気・機械設備について令和4年1月に着手し、令和5年1月の完成に向けて工事を進めている。								

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

スポーツコミッションセンター(仮称)整備事業については、市政だより等に事業内容と完成後のイメージ図の掲載、ホームページでは工事進捗状況の写真を公開するなど、市内外に周知を図っており関心は高い。
また、コミッションセンターを含めた拠点施設全体の供用開始である令和5年7月に向けて、施設を最大限に活用し市民の健康増進や競技力の向上はもとより、大会・合宿誘致による交流人口の増加を図るため「天草市スポーツコミッション」を令和4年4月に設立するための、活動内容や体制づくりについて関係団体等と協議を行い「天草市スポーツコミッション活動戦略」を策定した。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

本体建物や電気・機械設備工事については、大きな遅延もなく工程通りに進んでおり、全体の進捗状況を把握しながら監理を行い、令和5年1月に完成させる。また、施設利用に係る条例の制定、施設管理の体制について検討を行い、令和5年度からの管理・運営に備える。
そして、施設の供用開始と同時に市スポーツコミッションがスポーツコミッションセンター内に事務局を置き活動の拠点となることから、市民向けのモデル事業の実施、大会・合宿誘致やワンストップ窓口の設置、情報の発信など、関係機関と連携を図りながら令和5年度からの本格的な利活用に向けて取り組んでいく。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない

認定中の地域再生計画 事業別効果検証シート

NO 4

交付対象事業の名称	天草市イルカセンター(仮称)の整備による天草市の観光振興と地域活性化		担当部署	観光文化部 観光振興課				
			事業期間	H30年度～R4年度				
総合戦略での位置づけ	基本目標1 天草を支える産業の発展と安定した雇用を創出する (4)観光産業の成長産業化 (ウ)天草の拠点づくり 広域的なルートを形成し、島内における回遊性を高めるとともに、滞在時間や交流人口の増加を図る。							
令和3年度実績								
事業の目的	事業の内容	総事業費	事業費内訳					
五和町通詞島周辺海域には野生のイルカが生息し、平成5年にイルカウォッチングを開始し、天草を代表する体験型観光として、多くの観光客が訪れているが、近隣に観光施設等がないため、経済波及効果が発揮できていない。地元二江地区の地域活性化はもとより天草市の観光振興を実現するために、「天草市イルカセンター」を整備する。	自主事業 ・出荷協議会によるマルシェ ・年末年始即売会 道の駅共通事業 ・道の駅弁販売 ・リアル宝探しイベント ・チェアリングキャンペーン	22,732千円	委託料					
		※H30年度～R1年度の地方創生拠点整備交付金採択事業 企業版ふるさと納税(充当額) <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	・指定管理委託料 2,274千円 補助金 ・事業継続支援金 20,458千円					
本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値								
	指標	単位	事業開始前	H30	R1	R2	R3	R4
指標①	当センター窓口を利用したイルカウォッチング客数	人	90,000	0	100,000	105,000	110,000	115,000
指標②	施設利用者数	人	0	0	80,074	86,722	104,315	-
指標③	施設売上高	千円	0	0	117,660	92,240	122,129	-
事業の実績(実施内容等)								
新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館等は行わなかったが、遠方からの観光客の利用見込が立たないことから、インナープロモーションの一環として毎月1回マルシェを開催し、海産品の詰め放題イベントなどを実施したり、年末年始の企画として車海老、ヒオウギ貝、アワビ等の即売会を開催した。 また、行政側の支援として、市内5か所の道の駅を拠点とした周遊を目的として、リアル宝探しイベントと道の駅弁販売のキャンペーンを実施した。 さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、経営状況が悪化した施設の指定管理者に支援を行った。(事業継続支援金の支給)								

事業の評価

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 本事業は地方創生に非常に効果的であった | <input type="checkbox"/> 本事業は地方創生に相当程度効果があった |
| <input checked="" type="checkbox"/> 本事業は地方創生に効果があった | <input type="checkbox"/> 本事業は地方創生に対して効果がなかった |

天草市イルカセンターの令和3年度における施設利用者は約10万4千人、施設売上高は約1億2,212万円であり、指標値を下回る実績となった。ただし、施設売上高については新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも実績を伸ばしており、指標値をわずかに下回るものであった。イルカウォッチング目的の来訪者をターゲットとしているため、天候による影響が大きいところであるが、地元産品や地元食材の消費拡大に一定の効果が得られている。

今後の方針

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる | |
| <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) | <input checked="" type="checkbox"/> 特に見直しをせず事業を継続する |
| <input type="checkbox"/> 継続的な事業実施を予定していたが中止した | <input type="checkbox"/> 当初予定通り事業を終了した |

利用者・売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続く可能性があるため、指定管理者である天草漁業協同組合と経営改善に向けた協議を継続していく必要がある。
また、令和3年3月に道の駅宮地岳かかしの里が開業したことにより、市内にバランスよく5つの道の駅が配置され、島内周遊性が高まったことから、今後も市外向けの各種キャンペーン及びSNSやメディアを活用した情報発信を積極的に行い、島内周遊性の向上を図る。
一方で、市内住民を対象に、マイクロツーリズムの浸透を図るためラジオなどを活用したインナープロモーションも継続して実施する。

外部有識者の意見

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 地方創生に効果的であった |
| <input type="checkbox"/> 地方創生に効果的であったとは言えない |

認定中の地域再生計画 事業別効果検証シート

NO 5

交付対象事業の名称	宮地岳観光交流施設の整備による天草市の観光振興と地域活性化	担当部署	観光文化部 観光振興課					
		事業期間	R1年度～R5年度					
総合戦略での位置づけ	基本目標1 天草を支える産業の発展と安定した雇用を創出する (4)観光産業の成長産業化 (ウ)天草の拠点づくり 広域的なルートを形成し、島内における回遊性を高めるとともに、滞在時間や交流人口の増加を図る。							
令和3年度実績								
事業の目的	事業の内容	総事業費	事業費内訳					
過疎化が進み、地域力の低下が課題となっている宮地岳地区において、閉校した小学校校舎を利用し「道の駅」機能を付した観光拠点を整備することにより、観光客との交流による地域活性化を図るとともに、天草下島の中心部に位置する地勢的利点を活かし、天草市の観光情報を提供することにより島内周遊を促し、天草地域全体への波及効果を高める。	自主事業 ・かかし祭り ・そば打ち体験 ・能面展示 ・新米フェスタ ・紅葉狩りツアー ・ちゃんぼん祭り ・イルミネーション 道の駅共通事業 ・道の駅弁販売 ・リアル宝探しイベント ・フェアリングキャンペーン	5,466千円 ※R1年度～R2年度の地方創生拠点整備交付金採択事業 企業版ふるさと納税(充当額) <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施設管理業務委託 ・開閉管理業務 734千円 ・施設清掃業務 3,058千円 ・広場清掃業務 1,536千円 ・体験農場管理 138千円					
本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値								
指標	単位	事業開始前	R1	R2	R3	R4	R5	
指標① 施設利用者数	人		0	500,000	510,000	520,000	530,000	
		0	0	4,879	37,857	-	-	
指標② 施設売上高	万円		0	5,000	6,120	7,280	8,480	
		0	0	656	5,377	-	-	
事業の実績(実施内容等) 令和3年3月21日の開業から順調なスタートを切ったが、令和3年度に入り、度重なる国の緊急事態宣言及び県のまん延防止等重点措置の影響もあり、当初計画していた業績をあげられない期間が続いた。 そのような状況下において、3月末から5月初旬にかけて当該地域の主要イベントである「かかし祭り」の実施や、地元産品であるそばを活用したそば打ち体験の通年開催、また、秋から冬にかけての閑散期に新米フェスタ・紅葉狩りツアー・ちゃんぼん祭り・イルミネーションといった事業を地域を巻き込んで実施し、観光客との交流や地域力向上に取り組んでいる。								

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

令和3年度の実績としては、施設利用者数37,857人、施設売上高5,377万円と、どちらも指標を大きく下回る結果となった。特に平日の施設利用者及び売上げが伸び悩んでいることから、集客及び売上げ増加のため経営改善の取り組みを早急に行う必要がある。

しかしながら、近隣に地元産品や地元食材を取り扱う店舗が少ない中において、地元産品の消費拡大には一定の効果を得られている。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

令和3年度に「道の駅」を拠点として、周辺の観光スポットへの周遊を目的とした「リアル宝探し」イベントを実施し、好評であったことから、引き続き、天草市内の「道の駅」と連動したキャンペーン等の実施を進めるとともに、「道の駅」宮地岳かかしの里においてもSNSやメディアを活用した情報発信を積極的に行うことで観光客の誘客を図り、周辺地域への波及効果の浸透を図る。

物産やレストランについても来訪者に地域の特色を感じていただけるよう、夏蕎麦や地域ならではの農産物、加工品など地域の特色を生かした商品販売に努め、更なる魅力を構築していく。また、食事及び地元産品販売とそば打ち体験などの体験プログラムをセットにした商品を開発し、集客や売上向上を図る。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない

認定中の地域再生計画 事業別効果検証シート

NO 6

交付対象事業の名称	天草市まち・ひと・しごと創生推進計画 (企業版ふるさと納税関係)	担当部署	総合政策部 政策企画課			
		事業期間	R2年度～R6年度			
事業の目的・ 総合戦略との関係	天草市人口ビジョンで展望した人口減少に伴う課題を解決するために、天草市第2期総合戦略に掲げた4つの基本目標を達成するため、企業版ふるさと納税を活用するもの。					
令和3年度実績						
寄附受領額	2,000千円	充当先の事業 (充当額)	恐竜の島博物館整備事業 (2,000千円)			備考
			令和5年度に御所浦町にオープン予定の御所浦恐竜の島博物館の整備を行うための事業に充当。 令和3年度は、解体工事や映像や展示品の制作などを実施。			
本事業における重要業績評価指標(KPI) ※目標値の設定は最終年度(令和6年度)のみ						
指標		目標値	単位	事業開始前	実績値	備考
指標①	若い世代の転出超過(累計)	1,172	人	2,418	2,212	参考値※R2国調実績
指標②	就業人口数の確保	29,346	人	37,456	35,076	参考値※R2国調実績
指標③	都市部から本市への転入(累計)	400	人	382	-	(今回充当していない事業の指標)
指標④	25～44歳女性の就業率	86.0	%	81.33	-	(今回充当していない事業の指標)
指標⑤	子育てしやすい地域と感じる市民の割合	69.5	%	60.9	-	(今回充当していない事業の指標)
指標⑥	健康に暮らしていると感じる市民の割合	87.5	%	84.9	-	(今回充当していない事業の指標)
指標⑦	安心して暮らせていると感じる市民の割合	93.0	%	88.8	-	(今回充当していない事業の指標)
事業の実績(実施内容等)						
<p>●株式会社エーワンコンサルタント 2,000千円 令和4年4月18日 感謝状贈呈式 令和3年度に取り組んだ恐竜の島博物館整備事業へ充当</p> <p>※KPIの目標設定は最終年度のみだが、今回は充当した事業に係る指標のみを参考値として掲載した。</p>						

事業の評価

- 本事業は地方創生に非常に効果的であった 本事業は地方創生に相当程度効果があった
 本事業は地方創生に効果があった 本事業は地方創生に対して効果がなかった

本事業に取り組んだことで、企業からの寄付に繋がったため、効果があった。

今後の方針

- 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) 特に見直しをせず事業を継続する
 継続的な事業実施を予定していたが中止した 当初予定通り事業を終了した

自治体が営業活動を行う余力や民間企業との繋がりが無いため、都市部の企業との繋がりのある金融機関にコンサルティング業務を委託して寄付金の獲得を目指すこととした。

外部有識者の意見

- 地方創生に効果的であった
 地方創生に効果的であったとは言えない